

連載

新しい『ごみの分別』 できていますか？

容器包装プラスチックの分別に慣れましたか！

ごみ集積場所における容器包装プラスチックの排出状況を環境課職員が調査したところ、次のようなルール違反ごみが多く見られました。

- マークのついていないプラスチック製品を一緒に出している。
- 収集指定日を間違えて「その他紙」や「ペットボトル」と一緒に出している。
- 透明または半透明の袋に入れていない「発泡スチロール」が見受けられる。
- 汚れた状態の容器包装プラスチックが混入している。

これらの行為は、ルール違反であるだけでなく、ガラスや小動物による散乱被害の原因や異物除去に大きな労力が必要になるなど、リサイクルに支障をきたす恐れがあります。

特に容器包装プラスチックは、分別に慣れるまでの措置が9月で終了し、10月から、さまざまなリサイクル製品に利用できるよう分別水準（正しい分別がなされていることへの要求水準）がより厳しい「日本容器包装リサイクル協会」によって資源化されます。

ごみを分別し資源化することで地球温暖化防止や資源の有効活用を図っていくとともに、より良い環境を次の世代に残していきましょう。

資源ごみのゆくえ③ ～「ペットボトル」の資源化～



①集積場所に出されたペットボトル



②環境センターに集められ、機械に投入



③異物などの除去のための手選別作業



⑥資源化処理施設で加工し、製品の原料になった状態



⑤圧縮梱包された状態



④資源化しやすいように圧縮梱包する工程

フレークの状態になったペットボトルは、製造工程でさらに加工され、化学繊維、プラスチック製品（卵のパックやクリアファイル）などに再生されます。

※PETフレーク：ペットボトルを8ミリ角ぐらいの大きさに切って、よく洗って乾かしたものです。

◎今回は、びん類のリサイクルについて掲載予定です。 照会先 環境課 ☎85-9565

地デジ対応エリアが拡大!! 箱根湯本中継局の出力がより大きく!!



箱根湯本中継局の送信出力が、9月6日以降、0.1Wから1Wに変更され、地上デジタル放送の視聴可能な地域が拡大しました。
照会先 企画課 ☎85-9572

アナログ放送終了300日前！
早めに地デジへの対応を！
9月27日、アナログ放送終了まで、残り300日となりました。

平成23年7月の地上デジタル放送への移行に対応するための準備を完了する必要があります。アナログ放送終了間際には、アンテナ工事が集中して対応が間に合わなくなる可能性なども考えられるため、早めに移行しましょう。

テレビ画面の「告知スーパー」が常時表示されています

平成23年7月のアナログ放送終了、地上デジタル放送に関する具体的な対応の仕方や相談先などの情報が画面上下の黒味部分に表示されています。

照会先 総務省地デジコールセンター
☎0570-07-0101
(平日9時～21時、土・日曜日、祝日は18時まで)



簡易チューナー無償給付の申し込みを受け付けています
総務省では、地上デジタル放送がまだ受信できない方に対し、簡易チューナー1台の無償給付などの支援を行っています。

対象 次のいずれかに該当し、かつNHKの放送受信料が全額免除の世帯
○生活保護などの公的扶助を受けている世帯
○障がい者がいる世帯で、かつ世帯全員が市町村住民税非課税措置を受けている世帯
○社会福祉事業施設に自らテレビを持ち込んで入所している世帯

支援内容

・アナログテレビに取り付ける簡易チューナーの無償給付
・アンテナ改修などが必要な場合の室内アンテナの無償給付
または改修工事
注意事項 支援は現物支給です。自身で購入したチューナー代や、すでに行ったアンテナ改修に要した費用は清算できません。
受付期間 12月28日(火)まで(消印有効)

照会先 総務省地デジチューナー支援実施センター
☎0570-03-3840
※つながらない場合は ☎044-969-5425

「始めよう」男女共同参画「ワークライフバランス」への第一歩
WLB(ワーク・ライフ・バランス)とは、仕事と生活の調和です。
働き方を変え、家で過ごす時間を増やし、豊かに暮らせる社会を目指そうというもので、WLBにより、仕事以外の場面の交流が増え、地域の活性化が期待できます。また、男性の積極的な家庭生活への参加や育児休暇の取得が可能となり、子育てしやすい環境づくりにもつながります。



川柳をいくつか紹介しますので、皆さんも考えてみませんか。(川崎市男女共同参画センター「暮らし川柳」応募作品より抜粋)
◎休日 子どもとこころもキャッチボール
◎晩御飯 愛情強火で焦げちゃった
◎役割は いつでも変わる君と僕
照会先 企画課 ☎85-9560